



園長コーナー

今年も子どもたちがどきどきしながら、演じる発表会の時期がやってきました。

毎年、かえで保育園の成長発表会は、出来上がった台本に合わせて台詞を練習したり、先生が考えた舞台構成で演じたりするものではありません。遊びの中で自分らしさの表現の仕方を見つけ、その内容を深めていきます。

子どもたち自身がやりたい！面白い！と感じた事を皆で一緒にやってみる。その中で演じる楽しさを知ったり、友達の上質な表現に拍手をしたり、そして自分もやってみよう。頑張ってみようという意識に変わり劇遊びや歌ができていきます。

当日に役が変わるのもOK！子どもたちのやる気や思いは無限大です。どうぞ！本番の子どもたちの表情や演じる姿をお楽しみに。今年も先生も頑張っている練習中です。これも楽しみに！

先日、研修に行きました。講演の中で大変共感した話を紹介します。

「一人前の大人になることを前提にした保育や関わり」とは？

子どもは大好きな大人を取り込んで考えたり、感じたりしながら育ちます。いつも自分を見守ってくれている大人がそばにいる安心感の中で、感じたり考えたりする時間の繰り返しが大切。又、遊びの中の一番のおもちゃは、高価な遊具や玩具より実体験や人が生活で使っている用具の方が遊びが広がるという話がありました。そして子どもにとって必要なことは、「子どもを信じる」「考えることのできる時間や空間を保障する」「子ども自身が提案できることを支えていく」子育てができる自然に子どもは、「一人前の大人になっていく」とありました。講師の先生の提案に「うんうん。」「そうそう。」とうなづきながら話を聞きました。

最近、ふたば・めばえさんは、めいめいが覚えた言葉で会話を楽しめるようになってきています。つぼみさんも2～3人で共同遊びができるように。幼児のままごとは家の様子がすっかりごっこ遊びにつながってきています。（お母さんの口調がそのまま出てくるままごとは面白いです）

子どもが主になって生活を展開していく環境を大切にしていかなければと、再度「保育の環境」を考える時間となりました。

これからも「一人前の素敵な大人」になれるよう導いていきたいと思っています。



○先生のつづやき○

みなさんは「はじめてのおつかい」というテレビ番組をご存知ですか？私は、あの番組は絶対に一人で観ると決めています。その理由は…そう、号泣してしまうからです。買う物をつづやきながら歩く姿、犬にほえられた拍子に何をかうのか忘れてしまう姿、誘惑に負けておやつを買ってしまう姿にほのぼのさせられる事はもちろん、「1人では行けない」と泣きながらも、曲がり角を曲がった瞬間に自分で涙を拭いて「もう、泣かない」と歯を食いしばる姿に胸が熱くなります。まさに、自分で成長の階段を一段登った瞬間ですよ。

こんな姿を見るたびに、やっぱり子どもの持つ力ってすごい！って思うんです。

たくさんの勇気と優しさを振り絞っておつかいをしている時の真剣な表情、そして達成した後、お父さんやお母さんに抱きしめてもらった時の何とも言えないあの笑顔。キラキラしてますよね。

“子どもを信じて待つ”そして“しっかり抱きしめる”「はじめてのおつかい」から学んだ私の保育の根っこです。

水垣 順子



○行事予定○

- 13日～24日まで松蔭大学の学生さんが実習に来られます。
- インフルエンザが流行しつつあります。保育園では手洗い、うがいを子ども達にしっかりとするように話をすすめています。入館の際に必ず消毒をしてください。
感染を予防するため、保護者の方、兄弟関係で学級閉鎖などで自宅待機している場合は、保育室への入室はご遠慮ください。
ご協力をお願いします。
- 2月5日(水)と12日(水)は発表会の予行を行います。必ず9：30までの登園をお願いします。



- 2月15日(土)9：20～12：30せいちょう発表会を行います。詳しくは、発表会おたよりをご覧ください。
- 3月22日(土)に卒園式があります。全職員とひかり組が代表でが式に参列します。卒園式当日はめばえ・ふたば・つぼみ・いぶきのお子様は、ご家庭での保育をお願い致します。

日	曜日	予定
1	土	
2	日	
3	月	節分の日(豆まき)
4	火	音楽あそび
5	水	発表会予行
6	木	体育あそび
7	金	
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	
12	水	発表会予行
13	木	体育あそび
14	金	
15	土	せいちょう発表会
16	日	
17	月	
18	火	子育て支援(親子スキップ)
19	水	絵画指導
20	木	体育あそび
21	金	用海保育所交流会
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	誕生会
26	水	
27	木	体育あそび 浜脇小学校訪問
28	金	絵画指導
29	土	
30	日	
31	月	

～環境コーナー～

- 開園からみんなの元気な姿を見てくれているもみじの木ですが砂場の屋根にあたり苦しそうでしたので大移動しました。これで安心してのびのびと大きくなれそうです。



～保健だより～

・感染性疾患の対応

- 入館、退館の際は、手洗い・消毒を行ってください
- 朝、検温をして健康調査票に記入してください
- いつもと様子が違うときには口頭で結構ですので保育者に伝えてください。
- 37.5分以上の発熱、鼻水、咳、顔色などがある時に連絡をします。
体調が思わしくないときに長時間待つのは、とても不安で可哀相です。速やかにお迎えをしてあげてください。
体調が悪い場合は、無理をさせずに休ませてあげてください。

～お台所から～

新年を迎え早くも1か月が過ぎましたが、最近の子ども達の様子はといいますと・・・

とにかく“よく食べる！！”です(笑)

乳児クラスからは「ごはんの量を増やしてほしい」という要望があったので、

普段より多めに入れていたつもりだったのですが、2回目のおかわりを取りに来る先生の姿が。

幼児クラスでは「今日はどれをおかわりしようかなあ♪」と、食事を楽しみにしてくれている様子がうかがえ、何度もおかわりに行き、先生から“ストップ！”をかけられる子どもの姿もありました。

また、気に入ったメニューは「これお母さんに作ってもらお！」とか「これ、どうやって作ってるん？

お家でも出来る？」などという声があり興味を示してくれているようです。

かえで保育園の献立メニューもずいぶんが増え、お母さんたちにも少しずつですが紹介できるようになりました。

献立名だけを見ると難しそうに感じてしまうメニューもありますが、

保育園でしかできない料理というのはありません。

近くのスーパーで簡単に手に入る食材で、お家でも作れるメニューというのも意識しながら

献立作成をしていますので、是非お試しください。

今月のおススメメニューは・・・

子ども達にも人気でした☆ 是非、作ってみてくださいね！！

原 夕貴



きりとり線

※このレシピは切り取って、お使いください。

☆小松菜の豆乳クリームパスタ☆

<材料>(作りやすい分量)

小松菜・・・1束 ベーコン・・・1パック しめじ・・・1パック 玉ねぎ・・・1玉
水・・・150cc 調整豆乳・・・50cc コンソメ・・・1.5g 水溶き片栗粉・・・適量
スパゲッティー・・・100g

<作り方>

1、玉ねぎはスライスし、しめじは石づきを切り落とし横半分に切る。

小松菜はよく水洗いし、2cm幅に切り熱湯で色よくゆがく。ベーコンは1cm幅に切る。

2、フライパンを中火にかけ、ベーコンをゆっくり炒めて油が出てきたら玉ねぎ・しめじを加え炒める。

3、2に水を加え玉ねぎがしんなりするまで煮込む。

※このときに、スパゲッティーをゆがいておきましょう！！

4、3に豆乳を入れコンソメで味を整え、水溶き片栗粉でとろみをつける。

5、茹であがったスパゲッティーを4に絡めて、湯がいた小松菜を混ぜ合わせれば出来上がり！

☆小松菜には、ほうれん草の約5倍といわれるほどのカルシウムが含まれており、また風邪予防に最適なビタミンCも豊富に含まれています。

人気メニュー紹介





めばえ

ねらい「保育者・友だちとのやりとりを楽しむ」

わらべうた「ぞうきん」 うた「しあわせならてをたたこう」

保育者や友達のマねをして、ことばがたくさん出てきているめばえさん。「〇〇くん」や「〇〇ちゃん」など友達のことを呼んでいる子もいれば、「いや」や「うん」など保育者の問いかけに対して、自分の意思を持って答えている子もたくさんいます。また、友達同士の関わりもどんどん増えてきています。泣いている子がいると「はっ！」と気づいたような顔をして、急いで駆け寄り「よしよし」と頭をなでている姿は小さな先生のようにです。色々なことに「いや！」と反抗することも増えてきましたが、それも大きな成長だと、嬉しい気持ちの反面ちょっぴり寂しい気もします。子ども達の「いや」という気持ちもそのまま受け止め、ひとりひとりの気持ちに寄り添って関わっていきたいと思います。

田中 千尋



ふたば

今月のねらい「つぼみぐみの部屋であそぶ」

今月のうた「おにのパンツ」 今月のわらべうた「はなさかん開いた」

1月は寒い日もありましたがほぼ毎日園庭であそびました。フープで電車ごっこをしたり、追いかけてっこ・簡単なかくれんぼをしたりしてたくさん走りながら保育者とお友達とあそびました。

お部屋では、移行に向けて夕方はつぼみぐみのお部屋へあそびに行き、少しずつ新しい環境へと慣れていけるように過ごしています。食事を今までは子ども3人保育者1人でしたが、子ども4人保育者1人のテーブルで食べるようにしています。又、食事の担当を毎日同じ保育者が同じ子どもと食べるようにしてきましたが、今後は保育者を交代で進めていこうと思っています。

ふたばぐみのお部屋で過ごすことはあと2ヶ月となりましたが、無理のない程度移行へ向けて進めていきみんなで楽しく過ごしていきたいと思います。

吉川 智子



つぼみ

今月のねらい「お家の方に日頃の成長を見てもらい、共に喜ぶ」

今月のうた「コンコンコンクシャン ゆきのこぼろず」

先月は、お正月の風習にたくさんふれました。まずはたこあげ。ビニールに絵を描いたたこを、園庭でいっぱいあげました。手を下にして走るとたこがするする……。それに気付いた子は手をピッと上にかけて走っていました！遊びの中で子どもも色々学んでいて、さすが！と感心しました。そしてたくさん歩いて、西宮神社へ行きどんど焼きを経験しました。地域の方にも習いながらパンパン、と手をたたいたり、良い経験ができました。今月はせいちょう発表会があります。普段の子どもたちらしさを、好きなお話や遊びに基づきながら見て頂こうと思っています。あたたかく見守ってけると嬉しいです。

工藤 千尋



幼児

今月のねらい いぶき「イメージを共有して表現することを楽しむ」 ひかり「自分で気づいたり考えたりしながら友達と関わる」
だいち「一人一人が目標をもって取り組み、繰り返し挑戦する」

歌「豆まき クラリネットこわしちゃった こぎつね たのしいね」

先月は、今年一番の冷え込みでできた畑の土の霜柱、またピオトープに氷が張っているのを見つけると、子どもたちは白い息を吐き、興奮しながら教えてくれ、初めての体験や発見があったようです。集団遊びでは、「花いちもんめ」やいぶきぐみ中心の「こおり鬼ごっこ」など、寒い外でも子どもたちの元気な声が園庭に響き渡っています。

室内あそびでは、クラス毎に劇ごっこや歌を披露し、その様子を他クラスの子もたちがお客さんになって見に来ています。「このときはこんなふうにしたら?」「〇〇ちゃん、めっちゃかっこよかった!」など、子どもたち同士で褒めあったり、意見を言い合うことで、少しずつ自信にもつながってきているようです。中には、「恥ずかしい・・・」「今日はしたくない」という子どももお客さんになって見ているうちに参加したくなったり、どんな効果音がいいか探してみたり、またあるときは、コーナーあそびのときに劇のチケットを作ってみたり、成長発表会に向けて色々な形で参加する準備をしています。

今後も一人ひとりの気持ちや個性を大事に、楽しくあそびが発展していくように見守っていきます。

中山 英子

